

# アムスルだより

No.49 2001年 5月10日

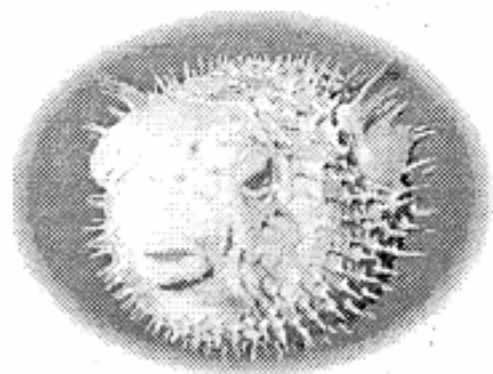
Akajima Marine Science Laboratory 阿嘉島臨海研究所



〒901-3311 沖縄県島尻郡座間味村字阿嘉179

ホームページもご覧下さい。http://www.amsl.or.jp

TEL:098-987-2304 FAX:098-987-2875 E-mail:amsl@ryukyu.ne.jp



## 針、1000本? -ハリセンボン-

もうみなさんもお気づきかと思えますが、今年はどういう訳かアバサーが大量発生しています。阿嘉港をちょっとのぞいてみただけで、岸壁近くに45匹も見つけることができました。実は、この大量発生は、阿嘉島周辺だけの話ではなく、沖縄の別の場所では「海面が真っ黒になるほど」見られたところもあったり、さらに北の福岡、鳥取、島根、兵庫の各県でも、ところによっては数千匹の単位で発見されたりしています。ということで、今回は、このアバサー(ハリセンボン)という魚についてお話ししましょう。

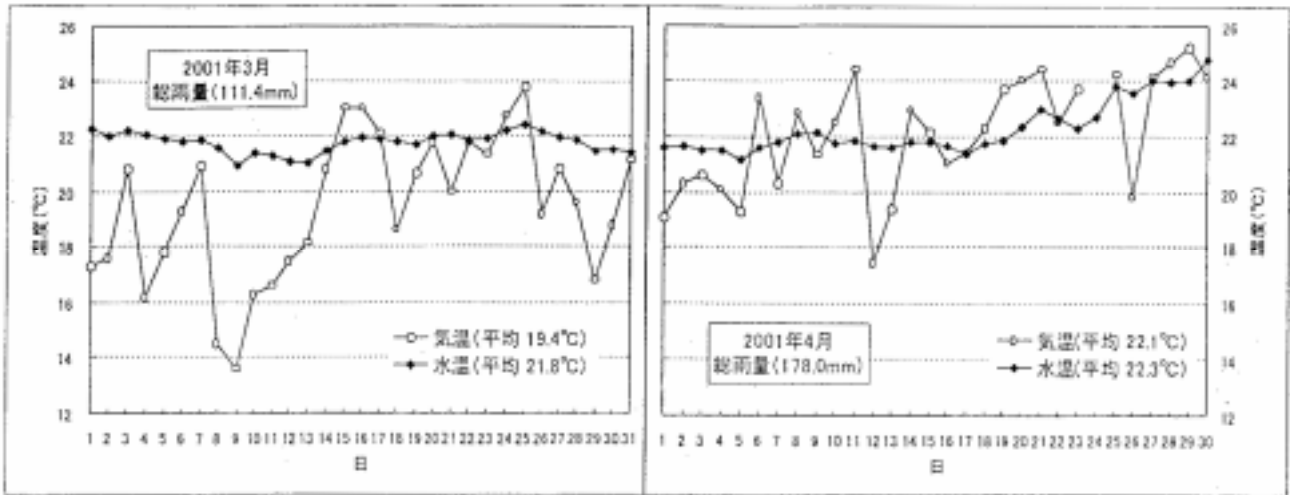
ハリセンボンは、フグの仲間です。フグといえば、<sup>かんぞう</sup>肝臓などに人を殺すことができるほどの強い<sup>どく</sup>毒をもっていることで有名です。けれども、沖縄では古くからハリセンボンを「アバサー汁」にして食べており、そのとき肝臓もすりつぶして混ぜてしまいますが、死んだり中毒にな

ったという話は聞いたことがありません。また、実際にハリセンボンの肝臓を調べた研究者も、そこにはフグ毒はなかったと言っていますので、ひとまずハリセンボンは、おいしくて毒のない魚とって良いでしょう。

ハリセンボンは泳ぐのがおそく、海の中で出会うと、逃げ切れないと思うのでしょうか、岩の下やすき間などに入り込んでしまいます。けれども、あまりかくれるのが上手ではなく、「頭かくして尻かくさず」で、簡単に<sup>つか</sup>捕まえることができます。これでは、他の動物につかまって食べられてしまいそうですが、そういう時、この魚が水を吸い込み、体をふくらませ、トゲをさか立てて身を守るのは、みなさんもお存じのとおりです。このトゲ、「針千本」というくらいですから、1000本くらいあるのかというと、実際にはそんなにはなく、400本くらいの方です(実際に数えた人の話では、体長16cmのもので371本だったそうです)。

動きののろさや、ふくらんだ姿、クルクルと動く大きな目など、ハリセンボンはとてもかわいらしいのですが、実はおそろしく強い歯をもっています。みなさんの中には、港の岸壁などでカニなどを

## 阿嘉新港での定点観測



食べているところを見たことのある人もいるかもしれませんが、ハリセンボンの歯の強さはそんなものではなく、ヤドカリを、背負っている固い貝殻ごとバリバリとかみ砕いて食べてしまうほどなのです(貝殻のかけらは飲み込まずに、口から出してしまいます)。指などをかまれたら大ケガをしてしまいますので、十分に気をつけて下さい。

今年本州周辺の海でもハリセンボンが大量に見つかっているとはじめに書きましたが、数は少ないものが見つかること自体はめずらしいことではありません。沖縄で生まれたハリセンボンの子供が、黒潮や対馬海流にのって、本州まで流されることはよくあるのです。けれども、今年のように大量にたどり着くのはめずらしく、そのたどり着いた先では、網にかかったハリセンボンのトゲが、イカやタイなどを傷つけ、それらが売り物にならなくなるなどの被害が出ています。どうして、このようなことが起きたのか、残念ながら原因ははっきりわかりませんが、これが自然のバランスがくずれ始めたしるしでないことを願うばかりです。

## 阿嘉島の海より

### -サンゴの産卵予想-

サンゴの産卵シーズンがやってきました。今年はいつ産卵が見られるのでしょうか。阿嘉島周辺でのサンゴの産卵は、夏の満月の4日前から8日後の期間に集中しますが、産卵する日は卵の成熟状態などによって前後します。今季は5月7日と6月6日が満月ですが、これは1993年の満月と1,2日違うだけです。さらに、卵の成熟に影響をおよぼす水温の上昇する傾向も似ていることから、今年1993年と似た産卵パターンになりそうです。1993年は、5月の満月の4,5日後にコモンサンゴ属の産卵がみられ、6月の満月の日とその翌日にミドリイシが一斉産卵しました。そして、7月の産卵は少なく、8月の満月の2~4日後には他の種類のミドリイシや塊状のキクメイシなど多くのサンゴが産卵しました。実際、今年のミドリイシを観察してみると、5月の満月を過ぎても体内の卵は白く、成熟に達しているサンゴは見られませんので、やはりミドリイシの一斉産卵は6月の満月の頃になるものと予想されます。研究所では今年もサンゴの産卵情報を集めていますので、皆様のご協力をお願いいたします。